

南コーカサスの花の楽園。世界最古のアルメニア教会建築も必見

催行決定

アルメニア フラワーハイキング

日程 6月15日(月)~23日(火)9日間

旅行代金 389,000円 新千歳発着・東京発着同額 ※その他の発着についてはお問い合わせ下さい

6月~7月のアルメニアは花盛り!

南コーカサス山麓に広がるアルメニアは、国土の平均標高が 2,000m 以上という山岳国家。緑豊かな大地では野花の群落が見られるところで見られます。特に最も多様な花が見られるのが初夏から7月にかけて。この時季は、山間の村や高原、山麓をめぐる、様々なケシ、キンポウゲ、ホタルブクロ、グラジオラスなど 100 種以上もの草花を見ることが出来ます。荘厳で重厚なアルメニア教会の建築群や雪を抱くアララト山などが、そこにアクセントを添え、素晴らしい景観を見ることが出来るでしょう。今回は野花に詳しい専門ガイド(日本語)が同行。おすすめのフラワーハイキングのスポットを厳選してご案内します(掲載写真のお花畑はイメージです)。



スピタク峠のキンポウゲ



アラガツォトゥン地方のケシの群落



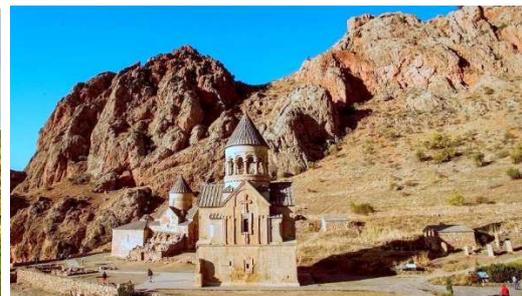
絵画のように美しい
ディリジャン国立公園



アララト山とホルヴィラップ修道院



8世紀に建てられたガルニ神殿



「アルメニアの至宝」ノラヴァンク修道院

- 最少催行人数：4名(最大10名様)
- 利用予定航空会社：アエロフロート、日本航空(国内線)など
- 食事：朝7回・昼0回・夕3回
- 一人部屋追加料金：53,000円
- 利用予定ホテル：エレバン/メトロポール、ディリジャン/ディリジャン・パークリゾート&ヴィラ、トサパタ/アヴァン・マラク、ハーモン/ルーシーホテル・リゾート または各地同等クラス
- 添乗員：新千歳空港より全行程同行します
- 現地ガイド：野花専門のスルーガイドが同行します
- 査証(ビザ)：不要
- 燃油・空港諸税は別途申し受けます ※目安 50,000~55,000円(2020年1月現在)
- 食事について：朝食は含まれ、ほぼホテルでのアメリカンスタイルまたはビュッフェになります。昼食は移動途中のレストラン、またはハイキングの場合は携行できるボックスランチを各自でお求めいただけます。行程に含まれていない夕食は、ホテルまたは周辺のレストランなどでご自由にお取りいただけます。スーパーなどで購入してお部屋でお取りするのも良いでしょう。お食事場所については添乗員と現地ガイドがサポートいたしますのでご安心下さい。

モニター
ツアー

初回限定のモニターツアーです。弊社初企画で添乗員にとっても事前調査のできない初めてのコースとなるため、十分なサポートができず旅程中にご不便をおかけする場合があります。そのため旅行代金は極力リーズナブルな設定となっております。ただし今回は日本語の花専門ガイドがスルーガイドとして同行しますので、通常のツアーとほとんど変わらないケアとサービスでご案内できる予定です。ぜひこのお得な機会にお申し込み下さい。

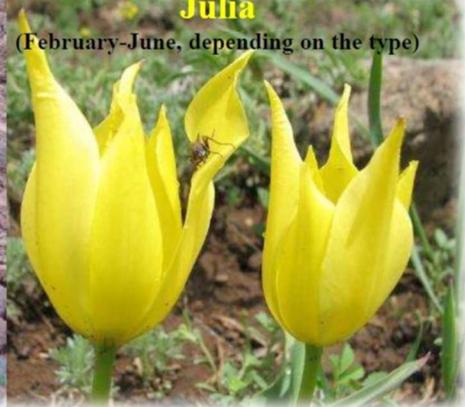
	月日	地名	行程	宿泊	罫
1	6/15 (月)	新千歳 羽田 モスクワ エレバン	新千歳(朝発) ✈️ 羽田 ※東京よりご参加の皆様は、羽田空港にて添乗員と合流していただきます。 羽田(午前発) ✈️ モスクワ(午後着) モスクワ(夜発) ✈️ エレバン(アルメニアの首都/深夜着) 着後、現地ガイドの出迎えを受け、ホテルへ。	エレバン /ホテル泊	一機
2	6/16 (火)	エレバン アラガツトウン地方 ツェズラー山麓 ディリジャン	朝食後、アラガツ山の麓、アラガツトウン地方へ(移動約4h)。 午前、火山の溶岩跡の残るハルタヴァン〜クチャクでフラワーハイキング(標高1,800m/約1h)。 その後、スピタク峠のハイキング(標高2,152m〜950m/約2.5h)。 午後、手付かずの大自然に囲まれた、絵画のように美しいリゾート地ディリジャンへ(移動約2.5h)。途中、ディリジャン国立公園の入り口に位置するツェズラー山麓にて野花観賞を楽しみながら向かいます。	ディリジャン /ホテル泊	朝一 夕
3	6/17 (水)	ディリジャン ゴシユ カルミール峠 トサパタ	朝食後、ディリジャンの観光へ。まずは緑豊かな森が広がるハガルツインの谷を散策(※雨天の場合はハガルツイン修道院を見学)。 その後、山間にある小さな村ゴシユへ。着後、世界で最も素晴らしいと言われるハチュカル(十字架の碑)のあるゴシャヴァンク修道院を見学。 午後、カルミール峠へ。着後、ショルジャにてフラワーハイキング(標高2,200〜1,530m/約3h)。その後、トサパタへ。	トサパタ /ホテル泊	朝一
4	6/18 (木)	トサパタ セリム峠 イエゲギス ハーモン	朝食後、セリム峠へ(移動約3.5h)。 途中、マケニヤツヴァンク修道院、ヴァルヴァン修道院を見学し、ゲガルクニク地方〜ヴァヨゾル地方に広がる野花を観賞しながら軽ハイキング。 また、シルクロードの中継点だったオルバリアン・キャラバンサライも観光。 セリム峠到着後、フラワーハイキング(標高2,410〜1,360m/約3h)。 昼食後、イエゲギスへ(移動約1h)。数多くの教会や修道院が点在し、自然豊かな村の周辺をハイキング。特に独特の建築美を見せる14世紀のアルメニア様式建築群は見応えがあります。終了後、ハーモンへ。	ハーモン /ホテル泊	朝一 夕
5	6/19 (金)	ハーモン ノラヴァンク アレニ アララト地方 エレバン	朝食後、ノラヴァンクへ。着後、「アルメニアの至宝」と称されるノラヴァンク修道院を見学し、アマゲー渓谷から爽やかな風が吹き抜ける高原をのんびりハイキング(標高1,820〜850m/約2h)。 その後、世界最古のブドウ品種のひとつ「アレニノワール」で有名なアレニにてワイナリー訪問。試飲やお買い物をお楽しみ下さい。 昼食後、「ノアの箱舟」伝説の地・アララト山を仰ぎ見るアララト地方へ(移動約1.5h)。アララト山を背景にしたホルヴィラツ修道院の壮大なパノラマ風景は圧巻です。その後、エレバンへ(移動約1.5h)。	エレバン /ホテル泊	朝一 夕
6	6/20 (土)	エレバン エチミアジン エレバン	朝食後、終日、専用車にてアルメニアの首都エレバン観光。 マシュトス通り、共和国広場、アルメニアの母の像、人気モニュメント“カスケード”(以上、下車観光)。世界最古の古文書館マテナダラン(入館)など。 午後、アルメニア正教会の総本山があるエチミアジンへ。世界最古の教会世界遺産エチミアジン修道院を見学。その後、エレバンへ戻ります。	エレバン /ホテル連泊	朝一
7	6/21 (日)	エレバン ゲガハマ山脈 ガルニ エレバン	朝食後、アザト川上流域へ(移動約1h)。着後、世界遺産ゲガルト修道院を見学。その後、4WD車に乗り換えてゲガハマ山脈へ(移動約1.5h)。 着後、山腹にて多彩な花や植物を見ながらフラワーハイキング(標高2,450〜950m/約3h)。ハイキング終了後、ガルニへ(移動約1.5h)。 現地の民家にてアルメニア伝統のパン作りを見学しながらの昼食。 昼食後、紀元前77年に建てられたとされるガルニ神殿を見学。 オスマントルコ帝国による大虐殺の犠牲者を祀る「アルメニア人犠牲者追悼モニュメント」などを見学しながらエレバンへ戻ります。	エレバン /ホテル連泊	朝一
8	6/22 (月)	エレバン モスクワ	朝食後、空港へ。エレバン(午前〜昼発) ✈️ モスクワ(午後着) モスクワ(夕刻発) ✈️	機中泊	朝一 機
9	6/23 (火)	羽田 新千歳	✈️ 羽田(午前着) ※東京よりご参加の皆様は羽田空港で解散となります。 羽田(昼〜午後発) ✈️ 新千歳(午後〜夕刻着)		機一

※行程は暫定です。現地の諸事情により行程の入れ替えや割愛、追加など変更の場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
 ※記載の標高は、おおよそのコースの最高地点と最低地点です。コース中に登り下りがある場合もあります。またハイキングの行動時間、車の移動時間は目安です。道路事情や天候などにより変動します。※アルメニア国内の移動はすべて専用車です。
 ※年によって開花期が異なるため、必ずしもご紹介した花が見られるとは限りません。自然相手のことなので、あらかじめご了承下さい。



Tulipa
Confusa, Biflora, Florenskyi,
Julia

(February-June, depending on the type)



①



**6月中旬に見られる
代表的な野花**

- ① 様々な種類のチューリップ
- ② ホタルブクロ
- ③ ママコナ
- ④ セダム・ピロスム(ベンケイソウ科)
- ⑤ 様々な種類のケシ
- ⑥ モウズイカ(ゴマノハナグサ科)

※写真は全てイメージです



②



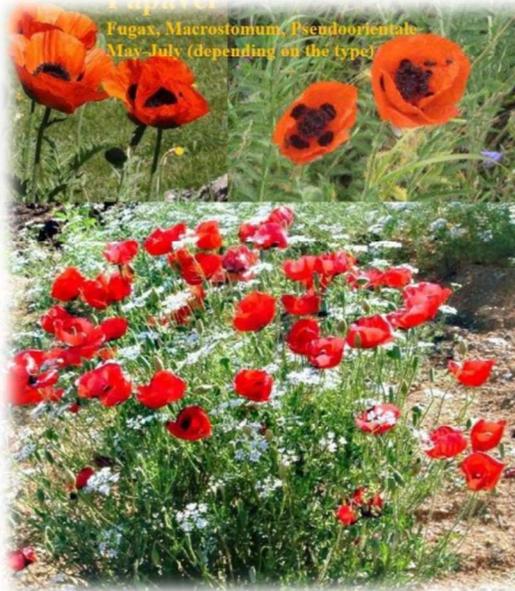
⑤



Sedum pilosum

(June-July/first half of August)

④



Papaver
Fugax, Macrostromum, Pseudoorientale
May-July (depending on the type)

③



Verbascum

(May-July/first half of August,
depending on climate)

⑥